

獨井元之 （幼名） 洋書家。明治二十一年八月十八日大阪生れ、昭和四十四年一月十一日没（八六六一九完）。博覧社田丸。味弘愛狐園主人、湖山人、狐山人、克文、K. Nabeï 等。大正四年東京美術學校卒。十一年渡歐、歸國後（社會會員）、十二年小出橋重等と信濃橋洋畫研究所設立、昭和二十二年（紀念會創立會員）、二十五年日本藝術院會受賞、二十九年浪速藝術大學教授。

著書『新しい風景畫の進路』（昭和五年八月十日又啓社書房）、隨筆集『新しき風景畫の人』（昭和九年十一月十四日書物展發社）、『近畿・山陰』（昭和十四年七月五日小山書店）、『洋畫技法全科の研究』（黒田重太郎共著、昭和十六年十二月二十八日厚生閣）、『繪心』（昭和十八年十一月十五日小山書店）、『字野浩』又『オケニノタカラ』（山本直治共畫、昭和十九年九月二十五日國民圖書刊行會『新日本幼年文庫』、『寧樂雜帖』（昭和二十二年五月十日大阪・宝書房）等。

